

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	地球環境対策推進プロジェクト		実施期間	H23～	テーマ	環境対策プロジェクト (町重点施策)	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	町面積58.26km <sup>2</sup> の内、山林が大部分を占め、豊かな自然に囲まれていることは、本町の特徴でもあり財産とも言える。しかし、現在では、地球温暖化や不法投棄の増加など豊かな自然環境の破壊が懸念されている状況である。本町が有する豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくことが必要とされている。							
プロジェクトの目的及び概要	自然環境の保全及び創造、循環型社会の形成、地球温暖化防止等、環境負荷が少ないまちづくりを進めるとともに、住民と協働し、環境保全に関する多様な施策を実施し、「ひとりひとりの環境に配慮した行動」の実践と積極的な環境配慮意識の醸成、一般廃棄物の適正な処理、減量、分別排出の徹底を図る。							
	総事業費（千円）	2,147	本年度事業費（千円）	2,147	交付金額（千円）	337		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	不法投棄対策事業	交付事業	不法投棄の抑止を図るため、啓発看板の設置と監視カメラによる不法投棄等の監視を行うとともに、不法投棄された廃棄物の処理を行う。			不法投棄の抑止を図るため、啓発看板の設置と監視カメラによる不法投棄等の監視を行うとともに、不法投棄された廃棄物の処理を行った。		
住民 協働 事業	エコ行動推進事業	交付事業	住民や事業者、行政などを含めた一人ひとりの環境に配慮した行動の実践を応援し「エコパートナーシップうじたわら」との連携により、みんなの力で環境保全の取り組みを推進する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「わたしのエコ行動宣言」登録者募集啓発</li> <li>・町広報紙、エコパー会報紙で啓発</li> <li>◆平成23年度末の登録者数：26人に環境家計簿を配布（エコ行動宣言登録者 平成25年度までに200人）</li> <li>※町環境保全計画数値目標による</li> <li>◆アイドリングストップ看板を役場駐車場に設置し啓発。</li> </ul>		
	エコ推進員設置事業	交付事業	環境施策における町と区・自治会とのパイプ役及び地域におけるリーダーを設置し、ごみの減量化を推進するとともに、住民が主体となって組織している「エコパートナーシップうじたわら」との連携により、住民及び事業者に対し積極的な環境配慮行動の実行を促進する。			環境施策における町と区・自治会とのパイプ役及び地域におけるリーダーを設置。住民が主体となって組織している「エコパートナーシップうじたわら」との連携により、住民及び事業者に対し積極的な環境配慮行動の実行を促進。		
	身近な自然環境保全推進事業	交付事業	休耕田を活用したビオトープを作り、動植物の生息しやすい自然環境の保全を推進する。			休耕田を活用したビオトープの作成。		
	地球にやさしいノーマイカー促進事業	関連事業	町内各企業にノーマイカー通勤の実施啓発を行うとともに、夏休み期間を対象に公共交通（バス）利用時における無料チケット（大人1人につき、子ども2人まで）を配布し、公共交通機関の利用を促進するとともに、二酸化炭素排出量の削減につなげる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコバスファミリーチケット</li> <li>期間：7月21日～8月28日、利用枚数：111枚</li> <li>・エコ通勤（庁内）</li> <li>実施日：6月～3月（毎月第1水曜）、平均実施率：74.3%</li> <li>・エコ通勤参加事業所登録制度の周知</li> <li>・田原交番前歩道橋にて、エコ通勤啓発横断幕設置</li> </ul>		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

住民が 取り組む 事業	環のくらし地域活動促進事業	交付事業	循環型社会の実現を目指して、ごみの減量化、再資源化、最終処分量の削減に住民自らが取り組む環境活動を支援し、環境保全活動の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆集団回収事業補助</li> <li>・地域団体：14団体、回収量：582,380kg、</li> <li>◆地域で実施された環境活動</li> <li>・清掃活動（河川・道・ゴミ捨て等）、環境学習会、エコバック活動、地球温暖化勉強会、グリーンカーテン、花壇植替えなど</li> </ul>	
	まち美化推進事業	交付事業	町内における美化活動団体に対し、ごみ回収用備品等を提供するとともに、ポイ捨て・糞害防止等の啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆推進員を対象に美化作業時着用のベストを配付</li> <li>◆7月 推進員連絡会議</li> <li>11月委嘱状交付式及び推進員連絡会議</li> <li>◆推進員数：22年度末97人⇒23年度末102人（町環境保全計画数値目標である平成25年度までに100人を達成）</li> <li>◆緑苑坂において新たな美化ボランティアグループ発足</li> </ul>	
	環境保全計画推進活動事業	交付事業	「エコパートナーシップうじたわら」が行う環境保全活動（会報誌の発行、各種啓発活動、自然環境にふれあう体験活動等）に補助金を交付し、活動を支援する。	「エコパートナーシップうじたわら」が行う環境保全活動（会報誌の発行、各種啓発活動、自然環境にふれあう体験活動等）に補助金を交付。	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	再資源回収量の増（環のくらし地域活動促進事業） 平成22年度 団体数：14団体 再生資源回収量：561,610kg		成果指標の実績値 （〇年〇月〇日時点）	集団回収事業補助 地域団体：14団体、回収量：582,380kg （平成24年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	平成22年度より再資源回収量は増加しており、ごみの減量化・再資源化を図ることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	まち美化推進事業の推進員の登録者数の増		成果指標の実績値 （〇年〇月〇日時点）	◆推進員数：22年度末97人⇒23年度末102人 （町環境保全計画数値目標である平成25年度までに100人を達成） （平成24年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	推進員の登録者数は平成25年度までの目標人数である100人を既に達成し、住民ボランティアによる活発なまち美化活動が行われている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	エコへの取組や住民主体の美化活動や自然環境保全活動等を推進することによって、住みよいまちづくりに対する住民の意識高揚につながった。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	地域団体や住民ボランティアによる自主的な活動として、再資源回収活動や川の清掃活動など環境美化活動への取り組みを推進することで、住民一人ひとりの環境に配慮する意識の向上を図った。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	環境配慮意識の高揚を地域でのごみの減量化・再資源化に結びつけることにより、城南衛生管理組合内の廃棄物処理の負担軽減に貢献できる。
	行財政改革に資する成果	住民一人ひとりが、一般廃棄物の適正な処理、減量、分別排出を徹底することで、収集作業の効率化、安全性の向上が図られ、経費の縮減につながる。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。